

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・論理国語	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	----------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・「情けは人の……」 （俵万智）	・ことわざの本来の意味や誤用など言葉に関する知識を深めるとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取ることで、言葉への興味関心を高めることができる。	知・技	・本文に出てきた漢字の読みや書き取りを正確に行う。 ・ことわざや四字熟語の意味を調べて、本文の理解を深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・ことわざの誤用が普及する背景について、筆者の考えを捉え理解している。 ・エピソードと筆者の主張との関係を捉えて、本文の理解を深めている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・自分自身の言語生活や言葉の理解について振り返るとともに、言葉のもつ面白さについて考察しようとしている	・プリント／行動観察
・「犬も歩けば棒に当たる」 （阿刀田高）	・一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深めることができる。	知・技	・本文に出てきた漢字の読みや書き取りを正確に行う。 ・分からない語句や表現について調べながら本文を理解している。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		思・判・表	・接続詞や段落の話題を捉え、段落のはたらきや相互関係を理解している。 ・二つ例の共通点を通して、場面や人によって解釈が多様であることを捉えている。	・定期考査 ・プリント／行動観察
		主体的学習	・日本語のもつ多様性とそれぞれの解釈が成り立つ根拠を考えようとしている。	・プリント／行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語・文学国語	学年・コース	第2学年（選択）	予定時数	15 時間
--------	---------	--------	----------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
・「旅する本」 （石田衣良）	・ 三人称の語りや、主人公が変わっていく文章構成の工夫を押さえたうえで、本との出会いで変化していく人物の心情を的確に読み取り、読書に対する意欲を高めることができる。	知・技	・ 作品の構成や展開を読み取ることができている。 ・ 擬人法や比喩といった表現の特徴を理解している。	・ 定期考査 ・ プリント／行動観察
		思・判・表	・ 各登場人物の置かれた状況や心情の変化について、本文に即して捉えている。 ・ 小説における語り手の役割について理解を深めることができている。	・ 定期考査 ・ プリント／行動観察
		主体的学習	・ 登場人物と本との出会いに着目しながら小説を読むことを通して、本と人間との関係について考察を深めている。	・ プリント／行動観察
・ 「山椒魚」 （井伏鱒二）	・ 直接的な会話でつながる「山椒魚」と「小えび」や「蛙」のやり取りから人間の弱い部分や不安や屈折した心理を読み取り、時代を超えた人間の普遍的な感情や心理を読み味わうことができる。	知・技	・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・ 「山椒魚」が書かれた時代や背景について自発的に調べ、理解している。	・ 定期考査 ・ プリント／行動観察
		思・判・表	・ 山椒魚の気持ちが、時間の経過や出会いによってどのように変化しているのかを理解している。 ・ 登場人物のせりふについて、それを発するに至るまでの心情の変化を読み取っている。	・ 定期考査 ・ プリント／行動観察
		主体的学習	・ 寓話的小説への関心を高め、作品についての解釈を深めようとしている。	・ プリント／行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	国語科・国語表現	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	----------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
1 言葉と出会う ④わかりやすい文を書く ⑤文のつながり方 ⑥お礼状の書き方	・係り受け、文末表現の統一、目的や場面などに応じた表現、読点や接続表現の使い方などを意識し、適切に表現することができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の意味を理解し、語彙を豊かにしている。 ・ 係り受けを整えたり文末表現を統一したりしている。 ・ 読点の適切な用い方を理解している。 ・ 接続表現の種類や働きを理解し、適切に用いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ プリント ・ 行動観察
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容を明確に伝えるために、係り受けや文末表現の統一に注意し、表現の仕方を工夫している。 ・ 敬語の使い方、話し言葉と書き言葉の使い分け、和語・漢語・外来語の使い分けを理解し、適切に用いている。 ・ 長すぎる文や曖昧な文を避け、読点を適切に用いるなど、表現の仕方を工夫している。 ・ 自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ プリント ・ 行動観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 係り受けを整えたり文末表現を統一したりしようとしている。 ・ 目的や場面、相手、手段に応じて適切な言葉を使い分けようとしている。 ・ 読点や接続表現を適切に用いるなどして、わかりやすい文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリント ・ 行動観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	地理歴史・日本史探究	学年・コース	第2学年（普通コース）	予定時数	14時間
--------	------------	--------	-------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 古代国家の確立 6. 飛鳥の朝廷 7. 大化改新から壬申の乱へ 8. 律令国家の形成 9. 東アジアのなかの天平文化 10. 奈良時代の政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> 律令体制の成立過程と諸文化の形成などをもとに、古代の政治・社会や文化の特色を理解する。 中国大陸・朝鮮半島との関係や、政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、古代の国家の形成過程について、出来事の意義や関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを、根拠を示して表現することができる。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 推古朝の政治や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響や、律令制の形成を中心に大化の改新以降の政治過程を理解している。 平城京における律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントの取り組み 小テスト 定期考査
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 仏教の受容や遣隋使・遣唐使の派遣などの大陸との交流について、諸資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 律令体制の成立や変容について、政治や地方の動向なども踏まえて多角的に考察し、表現している。 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書「Try」への取り組み 学習プリントの取り組み 定期考査（資料の読解・論述問題）
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や飛鳥文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程や展開とのつながりを明らかにしようとしている。 平城京における政治史の流れに着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に対する姿勢 学習プリントの取り組み 課題の提出

短期シラバス (第2回考査分)

教科・科目名	公民・公共	学年・コース	第1～3学年(普通・夢トライコース)	予定時数	15時間
--------	-------	--------	--------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第5章 経済活動を行う私たち 第1節 経済のしくみと産業の変化 5 労働者の権利 6 現代の労働問題	・「日本型経営」の内容が企業別労働組合、終身雇用制、年功序列型賃金であることを理解する。	知・技	・バブル崩壊による深刻な不況・デフレや国際的な企業間競争の激化により日本の雇用構造が大きく変化した経緯を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・労働組合の組織率の推移や正規雇用・非正規雇用の労働者数の推移・各国の失業率の推移等を考察し、それに伴う法整備等の見直しの必要性を適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・雇用と格差の問題が深刻化するなか、福祉のあり方を踏まえ、社会全体の抜本的な課題解決の方法を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況
第2節 市場経済のしくみと金融	・市場経済を原則とする資本主義経済体制下では、価格の児童調節機能により需要量と供給量が調整されることを理解する。 ・国内総生産や国民総所得、国民所得などの経済指標を踏まえるとともに、景気変動や経済成長について理解する。 ・日本銀行の役割を理解するとともに、経済や物価安定を目的とした金融政策の方法を理解する。	知・技	・市場経済のメカニズムや各種経済指標を理解している。また金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段の提示方法を理解している。	・行動観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査
		思・判・表	・需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのかを考察し、適切に表現している。またGDPが大きくなるにつながるのかを考察し、適切に表現している。	・行動観察 ・小テスト (資料読み取り) ・定期考査
		主体的学習	・需給関係によって変動する商品価格を踏まえた合理的な消費行動や、超低金利時代に生きる一員として今後の経済設計を主体的に追究しようとしている。	・課題 ・授業プリント ・発問への回答状況

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	数学・数学II	学年・コース	第2学年（普通コース・夢トライコース）	予定時数	29 時間
--------	---------	--------	---------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	座標や式を用いて、直線と円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 また、図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 数直線上、座標平面上において、2点間の距離や内分点、外分点の座標を求めることができる。 座標平面上において、図形的条件を式で表現できる。 軌跡の定義を理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 不等式、連立不等式の表す領域を図示することができる。 	行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 座標や図形の方程式を求めるのに、図形の性質を適切に利用できる。 円と直線の共有点の個数を、2次方程式の実数解の個数で考察することができる。 円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係を代数的に処理することで、円と直線の位置関係を考察することができる。 点を満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。 不等式を満たすx、yの組を、座標平面上の点の集合としてみるることができる。 連立不等式を満たすx、yの組を、座標平面上の点の集合としてみるることができる。 	行動観察 課題の取組状況 定期考査の成績

		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・公式を利用して、内分点、外分点の座標や直線の方程式を求めようとする。 ・2直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに着目して考察しようとする。 ・円と直線の位置関係を、2次方程式の判別式や、円の中心から直線までの距離と円の半径の大小関係により調べようとする。 ・点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとする。 	<p>行動観察</p> <p>課題の提出状況</p> <p>振り返りシート</p>
--	--	-------	--	---

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・化学基礎	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第1章 物質の構成 第2節 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合、共有結合、金属結合について、結合様式をそれぞれ理解する。 ・それぞれの結合でできた物質の性質を理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 ・共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合についての知識も身に付けている。 ・金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 	<p>単元テスト (小テスト)</p> <p>定期考査</p> <p>課題</p>
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの結合について、説明できる。 ・分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、分子の形をもとに総合的に判断できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探求しようとする。 ・物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 	<p>課題の提出状況</p> <p>授業態度</p>

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	理科・生物基礎	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	14 時間
--------	---------	--------	------------------	------	-------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・ DNAの基本構造を理解する。 ・ 塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 ・ 細胞分裂を通じて均等に分配されることで、細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれることを理解する。 ・ 細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二重らせん構造や、塩基の相補性などのDNAの構造の特徴を理解している。 ・ 過去の研究の内容と意義を理解している。 ・ DNAの半保存的複製を理解している。 ・ 細胞分裂の各過程で起こる現象を理解している。 	単元テスト (小テスト) 定期考査 課題
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料をもとに、DNAの塩基の相補性とDNAの構造との関連について説明できる。 ・ 資料から、DNAの複製のしくみ（半保存的複製）を読み取ることができる。 ・ 母細胞と娘細胞が同じ遺伝情報をもつ理由について、細胞周期に関連づけて説明できる。 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヌクレオチド鎖の塩基どうしの結合にみられる特徴を資料から読み取り、積極的に説明しようとしている。 ・ DNAの複製について、資料から読み取れることを積極的に説明しようとしている。 ・ 細胞分裂の観察結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測しようとしている。 	課題の提出状況 授業態度

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	2時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
体育理論	スポーツから得られる「恩恵」とスポーツについての「課題」から、さまざまに思考し判断し表現する学習を通して、個人がスポーツ文化を創造していく主体となっていることに気づくようにする。	知・技	（知識）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 （技能）体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価基準は設定していない。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		思・判・表	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	小テスト、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）
		主体的学習	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	出席状況、忘れ物など、保体ノート、訂正ノート、活動の観察（取組）

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	16時間
--------	---------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
(選択種目) 球技	競技の勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技	<p>（知識）技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>（技能）ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p>	<p>競技の記録表</p> <p>ルールテスト</p> <p>実技テスト</p> <p>活動の観察</p>
		思・判・表	<p>攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>個人ノート、班ノート、競技の記録表、自己評価表</p>
		主体的学習	<p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	<p>授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察</p>

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・体育	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	12時間
--------	---------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
陸上	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法を理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。その際、動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。また、陸上競技の学習に自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にすることや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。	知・技	（知識）技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 （技能）短距離・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分に高めることができる。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。走高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶことができる。砲丸投げでは、立ち投げなどから砲丸を突き出して投げることができる。やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げることができる。	競技の記録表 ルールテスト 実技テスト 活動の観察
		思・判・表	動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	個人ノート、班ノート、競技の記録表 自己評価表
		主体的学習	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。	授業への取り組み、出席状況、忘れ物など、個人ノート、自己評価表、活動の観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	保健体育・保健	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	6時間
--------	---------	--------	------------------	------	-----

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
3 単元 生涯を通じる健康 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活	生涯の各段階において、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて適切な意思決定・行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようになる。	知・技	結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解している。その際、健康課題について理解するとともに、健康課題には年齢や生活習慣などに関わることについて理解している。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響についても理解している。また、結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に関する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健医療サービスの活用が必要であることを理解している。 中高年期を健やかに過ごすためには、若い時から、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解している。また高齢期には加齢により、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解している。労働による障害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境によって質や量に変化してきたことを理解している。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解している。働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心	定期考査の成績 小テスト 授業への取り組み 保体ノート 訂正ノート

			身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成立することを理解している。その際、ストレスに対する気づきへの援助、リラクゼーションの指導など、メンタルヘルスケアが重要視されていることに触れている。そのためには働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解している。	
		思・判・表	生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病などのリスク軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明できる。	定期考査の成績 授業への取り組み 保体ノート 訂正ノート
		主体的学習	生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指し主体的に取り組もうとしている。	授業への取り組み 保体ノート 訂正ノート

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	芸術・音楽総合	学年・コース	第2学年（普通コース）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
ギターアンサンブル ～ギター演奏に挑戦し、共に音楽を楽しもう～	<ul style="list-style-type: none"> ギター演奏の活動を通して、楽曲全体やそれぞれのパートがもつ雰囲気味わいながら表現する。 音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。 音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現の能力を伸ばす。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ギターの文化的・歴史的背景を理解している。 曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わりを理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実技評価 小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、イメージをもって表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> 器楽演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等 	
鑑賞① ラヴェル「ボレロ」 ～音楽を形づくる要素を学ぼう～	<ul style="list-style-type: none"> ラヴェルの名曲を通して、オーケストラで使用される楽器の音色や特徴、歴史的背景を知る。 音楽を形づくる要素について理解し、それぞれの観点から楽曲を分析し、味わいながら鑑賞する。 	知・技	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラで使用される楽器の音色や特徴、歴史的背景を理解している。 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト等 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくる要素を理解し、それらの観点から楽曲を分析・鑑賞し、自身の考えを述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート等 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラ作品に興味をもち、主体的に授業に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価 授業態度等 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	25時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 8 A Door to a New Life ロボットカフェ	<p>[題材内容] ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。</p> <p>[言語材料] 現在完了形：〈have[has]+過去分詞〉</p> <p>[言語活動] 人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。</p>	知・技	<p>[知識] 現在完了形〈have[has]+過去分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>[技能] 現在完了形〈have[has]+過去分詞〉の理解をもとに、ロボットカフェについて学んだり、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを提案する技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	<p>ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	<p>ロボットカフェに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボットのアイデアを考えて、それを提案する記事を書いたり話したりしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・振り返りシート ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・英語コミュニケーションⅡ	学年・コース	第2学年（普通・夢トライコース）	予定時数	25時間
--------	-----------------	--------	------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 9 Fighting Plastic Pollution 海の豊かさを守る	<p>[題材内容] プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹の活動を学習する。</p> <p>[言語材料] 名詞を後ろから説明する分詞</p> <p>[言語活動] 環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。</p>	知・技	<p>[知識]「名詞を後ろから説明する分詞」が用いられた文の形・意味・用法を理解している。また、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について調べた事柄を整理・理解している。</p> <p>[技能]「名詞を後ろから説明する分詞」の理解をもとに、プラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり、プラスチックごみの問題について自分で調べた事柄を用いて、自分たちにできることを伝え合う技能を身につけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント等 ・小テスト ・振り返りシート
		思・判・表	<p>プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・振り返りシート ・観察
		主体的学習	<p>プラスチックごみによる環境汚染の問題に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、プラスチックごみの問題について自分たちにできることについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンステスト ・振り返りシート ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅰ	学年・コース	第2学年（選択）	予定時数	20時間
--------	----------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 6 Homestay	英語で Email を書くために、「完了したこと」や「継続していること」などについて、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、書いて伝えることができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在完了形（完了 / 現在完了進行形）」、「メールのあいさつ」での表現の意味や働きを理解している。 ・「英語での Email」について話し、書き、聞き取る技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について自分の考えや気持ち、情報などを、工夫して聞き取り、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について、自分の考えや気持ち、情報などを工夫して、聞き取り、話して伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
Lesson 7 Which Is Faster?	いろいろなものを比較するために、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開に工夫して話して伝え合うことができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものを「比較」するために必要となる「比較（比較級 / 最上級 / as ... as ~）」、「驚く」表現の意味や働きを理解している。 ・「いろいろなものの比較」について話し、書き、聞き取る技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について自分の考えや気持ち、情報などを、工夫して聞き取り、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について、自分の考えや気持ち、情報などを工夫して、聞き取り、話して伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	英語・論理表現Ⅰ	学年・コース	第2学年（選択）	予定時数	20時間
--------	----------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
Lesson 8 Great Inventions	身の回りにあるすぐれた「発明品」を紹介するために、「発明品」について、自分の考えや気持ち、情報などを、論理の構成や展開を工夫して、理由とともに話して伝えることができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ・「助動詞（can / may）」、「理由を述べる」表現の意味や働きを理解している。 ・「発明品」について話し、書き、聞き取る技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・プリント ・小テスト
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について自分の考えや気持ち、情報などを、工夫して聞き取り、伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> ・題材について、自分の考えや気持ち、情報などを工夫して、聞き取り、話して伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・観察

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	家庭・食文化	学年・コース	第2学年（夢トライコース）	予定時数	14時間
単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法	
第2章 日本の食文化 第1節 日本の食文化史 ≪実習≫ ・五島の食材について知る ・菜園管理	日本の食文化について学び、共同料理について理解を深めることができる。	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 日本の食文化の変化について理解するとともに、地元の郷土料理について理解することができる。 調理の基本を理解し、簡単な調理ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 授業への参加態度 定期考査 	
		思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 郷土料理について調べ、まとめることができる。また、調理で作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 作品の提出 実習への参加態度 定期考査 	
		主体的学習	<ul style="list-style-type: none"> グループの人と協力をして、問題に対する解決方法を考えたり、調理実習に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリント 授業、実習への参加態度 	

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	商業・ビジネス基礎	学年・コース	第2学年 (普通・夢トライコース)	予定時数	14時間
--------	-----------	--------	----------------------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第4章 ビジネスと売買取引	売買取引と決済およびビジネス計算について実務に即して理解し、計算のしかたを身につける。	知・技	ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、電卓の技術を身に付けている。	・小テスト ・定期考査
		思・判・表	ビジネスにおける売買取引および決済時にどのように計算すべきかが判断できる。	・ワークシート ・課題
		主体的学習	売買取引と決済時の計算方法について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	・ワークシート ・課題 ・授業への取り組み

短期シラバス（第2回考査分）

教科・科目名	商業・情報処理	学年・コース	第2学年（選択）	予定時数	15時間
--------	---------	--------	----------	------	------

単元・題材	単元の目標	評価観点	評価規準	評価方法
第3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計	情報の重要性を理解し、情報を分析して、傾向を把握する能力を身に付ける。	知・技	情報の重要性を理解している。	・定期考査 ・小テスト
		思・判・表	情報を分析して適切に表現することができる。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題
		主体的学習	情報の重要性と分析の仕方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・ワークシート ・授業への取り組み
第3章 情報の集計と分析 2節 関数を利用した表の作成	基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。	知・技	表計算ソフトウェアの基本的な操作方法や関数等について理解し、表を作成する技術を身につける。	・定期考査 ・小テスト・課題
		思・判・表	身につけた表計算ソフトウェアの操作方法や関数についての知識、表を作成する技術を用いて、情報に応じて適切に表現することができる。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート ・課題
		主体的学習	情報を適切な表にまとめる方法について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・課題 ・ワークシート ・授業への取り組み